

## 町交通安全母の会が県警から表彰

交通安全の意識高揚や交通事故防止への貢献が認められ、町交通安全母の会（長崎信子会長）が、県警察本部から「平成21年度交通安全功労者」として表彰されました。同会は永年、手作りの交通安全お守りの配布や、小学校での交通安全指導などに取り組んでおり、受賞に、長崎会長は「歴代の会員の皆さんののおかげ。これからも町内の交通安全のため、新一年生の交通安全指導などを充実させたい」と述べていました。



## 第3回小波津ジャガイモスープを開催

ジャガイモの大きさを競い合うことにより、農作物生産の意欲を高め、自家栽培と農地活用を促進しようと、小波津自治会（糸数栄吉会長）は2月28日、小波津集落センターで、「第3回小波津ジャガイモスープ」を実施しました。小波津祐光さんが1個の部で850g、10個の部で5,750gと、両部門で優勝しました。出品されたジャガイモは、町給食センターに寄贈されました。



## 下地郁子さんが総務大臣から表彰

「第45回衆議院議員総選挙に係る総務大臣表彰」に町選挙管理委員会委員の下地郁子さん（字呉屋）が受賞しました。これは、下地さんが選挙実例等の研究に努め、選挙管理を適正かつ円滑に執行し、投票所の環境改善を図って投票率の向上に貢献したことが認められたもの。受賞に、下地さんは「当然の仕事をしているだけですが、表彰を重く受け止め、今後も頑張ります」と話していました。



## 与那嶺涼子さんがネパールでの活動を報告

与那嶺涼子さん（字幸地）が、JICA（青年海外協力隊）で派遣されたネパールでの2年間の活動を終え、2月23日、町役場を訪れ、活動報告をしました。ジェンダー学を専門とする与那嶺さんは、女性の地位が低く、慣習法が根強いネパールで、WHRという寡婦のための人権団体に所属し、職業訓練や貸付など寡婦の経済自立支援や人権擁護活動を行ってきました。実際に生活をして様々な差別意識にカルチャーショックを受け、仕事に対する意識の違いで苦労したという与那嶺さんですが、「今後も女性の自立を援助する仕事で頑張りたい」と話していました。



# まちの話題

## 春高バレー県予選で、西原高校男女バレー部がアベックV!!

バレーボールの「第41回全国高校選抜優勝大会沖縄地区予選大会」で、西原高校のバレー部が、男子、女子ともに優勝を果たしました。2月23日、町役場を訪れた男子の羽地朝哉キャプテンは、「町の応援もあって優勝することができた。コンビバレーで、全国ベスト4を目指します」と意気込みを語り、女子の平良皐月キャプテンは「インターハイでは悔しい思いをしたので、全国大会では一戦一戦全力で戦う」と決意を示しました。上岡町長は「アベック優勝とは見事。バレーボールの町を宣言している本町にとって、こんなに嬉しいことはない」と褒め称えました。同部は、3月20日から東京で行われる全国大会（春の高校バレー）に出場します。



## 長男の妻の立場を理解し合おう

長男の妻の負担が大きいといわれる仏事や介護などについて、世代を超えて話し合おうと「長男の妻応援！ゆんたく集会」が2月18日、町中央公民館で開かれました。第一部では「香典は千円にし、お返しは廃止する」など最新新生活運動に取り組む自治会の事例を紹介。第二部では、舅、姑、長男の妻、独身など各世代の代表がパネリストとなり、各々の立場から現状や意見を述べました。結婚前は長男に嫁ぐことに反対されたという長男の妻代表の川満ヤス子さん（町商工会女性部長）は「義母に子育てなど助けてもらい、ありがたく思う」と話し、長男代表の呉屋邦広さん（町職員）は「長男は両親と妻のクッション役に徹し、お互いの話を聞くこと」と話していました。



## 小川保育園で食育体験

2月17日、小川保育園（田仲雄二園長）でカレーや黒糖作りの食育体験が行われました。田仲園長は「自ら育て収穫し食べることで食育になる」と話し、カレー作りでは、園で栽培した野菜を収穫し、一口大に切る体験。初めて包丁をさわったという宮里咲愛ちゃんは「玉ねぎ切って涙が出た」と話しながらも、自分達が作ったカレーを美味しく完食。地元の農家から提供してもらったサトウキビで、園児らはサトウキビ搾りにも挑戦しました。圧搾機で搾ったサトウキビの汁を飲み、「甘～い、おい～い」を連呼し、その後も汁が煮詰められ、黒糖が出来あがっていく様子を興味津々で見つめていました。



## こころと体が喜ぶメニューを学びました

“いつもの食材が少しの工夫で、こころと体が喜ぶメニュー”をテーマにした「体の中も美しく、キレイの秘訣教室」が、国民健康保険加入者で特定健診を受診された方を対象に、5回講座で開催されました。受講者はダイエットだけではなく、おいしく簡単に、アンチエイジングにも効果的なメニューを学びました。



## 九州春季バスケットボール大会を開催

「美ら島沖縄総体2010」のリハーサルを兼ねた「第40回全九州高等学校バスケットボール春季選手権大会」が2月12日～14日、町民体育館で行われ、県内外から32校が参加しました。開会式で、上岡町長は「高校生らしいプレーで盛り上げてほしい」と激励。男子は福岡第一高校、女子は九州女子高校が優勝しました。



## 浦田聖子・西堀健実ペアがビーチバレー教室を開催

女子ビーチバレーの浦田聖子・西堀健実ペアを講師に迎え、プロの技術を肌で感じてもらう「キッズビーチバレーボール教室」（町バレーボール協会主催）が2月20日、西原きらきらビーチで開催されました。参加した町内の小学生は、裸足で砂浜を駆けまわり、砂まみれになりながら、ビーチバレーの楽しさを学びました。



## 真栄城紀子さんが新報活動賞受賞！

社会の第一線で活躍する個人や団体を顕彰する第32回琉球新報活動賞の教育活動部門で、県なぎなた連盟副会長の真栄城紀子さん（字我謝）が受賞しました。真栄城さんは「西原なぎなたクラブ」を設立し、高校の監督として5度、中学では7度全国を制覇し、現在も西原東中学校なぎなた部のコーチを務め、なぎなたの指導に尽力しています。「子供達の成長を見るのが嬉しい」と話す真栄城さんは、3人の娘をはじめ、多くの指導者も育てており、「私にとって、なぎなたはぬちぐすい（命の薬）。今後もなぎなた育成のために頑張りたい」と話していました。

